

登録コード	A3245200	開講年度	2026				
授業科目	国内牧場実践実習					担当教員	竹田 謙一
英文授業名	Practice in domestic ranch						
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	2年生
講義室				授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
							令和6年度以前に入学した学生対象
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2022Aカリ, 20221Aカリ, 2020Aカリ, 2019Aカリ						
	【2022年度以前が対象】農学に関する広い知識・技術を修得している					農学に関する広い知識・技術を修得している	
	2026A3編(24A), 2025A3編(23A), 2024Aカリ, 2023Aカリ						
	【2024年度以前が対象】農学に関する専門的知識・技術を修得している。					農学に関する専門的知識・技術を修得している。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	学外の牧場等で家畜, 動物の管理等を実習します。 実習先は原則として各自が公共牧場, 試験研究機関, 畜産専門農家または企業等を調査後, 提案し, 教員と相談後, 決定して下さい。 実習は夏季等の休業中に7~10日間(実習総時間が60時間になるように調整)を行い, 期間内の作業等を実習先に評価いただくとともに, 各自が実習内容をレポートにまとめて下さい。 なお, 春季(2月5日~3月31日の間)に実習を受ける場合は, 2月10日までに, 実習先とその期間について, 担当教員に連絡してください。 連絡がない場合は, 「不可」となります。また, レポート提出がない場合は, いずれの期間に行った実習でも「不可」になるので, レポートの出し忘れには十分注意してください。						
(5)授業計画	第1回(6時間): 国内牧場実践実習ガイダンス 第2回(6時間): 牧場実践実習先の調査 第3回(6時間): 牧場実践実習先の提案, 教員との相談 第4回(6時間): 牧場施設の視察・調査 第5回(6時間): 牧場設備の視察・調査 第6回(6時間): 牧場経営の視察・調査 第7回(6時間): 衛生管理の視察・調査 第8回(6時間): 衛生管理 第9回(6時間): 飼料作物生産の視察・調査 第10回(6時間): 飼料作物の生産 第11回(6時間): 飼料作物の保存, 貯蔵 第12回(6時間): 飼料作物の給与 第13回(6時間): 家畜の繁殖管理の視察・調査 第14回(6時間): 家畜の育種管理 第15回(6時間): 家畜の繁殖管理 第16回(3時間): レポート作成						
(6)自主学習の指針	実習で飼養管理する動物、飼料作物に関する書籍等を確認することを勧める。						
(7)成績評価の基準	()全演習プログラムに参加するとともに、()牧場の作業に積極的に参加し、()牧場における動物の飼養、管理、飼料調整等を経験し、()実際の牧場における動物生産現場について理解を深められた場合「卓越している」とする。()に関して体調不良等の理由により一部の演習に参加できなかった場合「かなり上にある」、複数の演習に参加できなかった場合「やや上にある」、より複数の演習に参加できなかった場合「水準にある」とする。						
(8)事前事後学習の内容	事前に牧場における管理、作業、および動物生産等を調べる。 事後学習として、実際の作業経験から理解が深まったこと、新たに興味を持った点、作業等に関して疑問等をまとめ、報告する。						
(9)テストやレポートの予定	実習期間内の作業等を実習先に評価いただくとともに, 各自が実習内容をレポートにまとめて下さい。						
(10)成績評価の方法	実習先の評価, レポートによる総合評価 レポート提出がない場合は、成績を評価できません。注意してください。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	担当教員: 竹田謙一 (ktakeda@shinshu-u.ac.jp)						
(12)履修上の注意	実習を受講するにあたって、学務係に提出しなければならない書類があります。e-ALPSにアップロードしてありますので、各自、ダウンロードの上、余裕をもって提出してください。						

(12)履修上の注意	2025年度以降の入学生（3年次編入生は除く）は受講できませんので、注意してください。
【教科書】	特になし
【参考書】	特になし